

経営協議会の学外委員からの意見を法人運営の改善に活用した事例

日付	回数	委員からの意見	日付	回数	回答状況	取り組み内容
27.5.19	第39回	大学共同利用機関と総研大が繋がっていることは本当に素晴らしい特色なので、そこをもっとセールスされて目立つようにすべきである。	27.12.18	第43回 書面審議	全学的な広報体制を整備し、一般市民、若年者を対象に、教育研究の成果に関するコミュニケーションを行う活動等、多様な媒体を用いた広報活動を基盤機関と連携して実施する。	第3期中期目標・中期計画原案の提出(平成28年1月)
27.5.19	第39回	総研大を構想した当初は、学生を先生の研究室に入れて、先生の研究と一緒にやるのが教育だという時代に構想したので、研究所ごとにその専攻で閉じて教育をしているので、大学院共通科目やコースワークを考えるとやや不利な環境にある。これからは、総研大の各基盤機関で実際行われる専攻教育を幅の広いものとして考えて頂きたい。	27.12.18	第43回 書面審議	学生の多様な学習ニーズに対応するため、分野横断教育プログラムとインターンシップ制度を活用し、専攻の指導教員と密に連携しながら、個々の学生に必要な指導を柔軟に受けられるカスタムメイド教育の体制整備を行う。	第3期中期目標・中期計画原案の提出(平成28年1月)
27.6.24	第40回	アウトプットは常に評価され、見える化の問題は数値化であるが、大学は数字だけ追うのではなくて、価値の方も追っていかねばいけない。	27.12.18	第43回 書面審議	教育研究の質を維持向上させるため、機構等法人と関係を協議しつつ、大学院教育研究に適合したIR(機関情報分析)評価指標を構築し、教員活動評価、学生活動評価に適用する。	第3期中期目標・中期計画原案の提出(平成28年1月)
27.11.13	第42回	国の財政が非常に厳しい中、教育・研究予算も年々減少していく。教育・研究を強化するが国からの財源は無いとすれば、自ら資金を確保する他ないが、何か展望を持っているか。	27.12.18	第43回 書面審議	大学の知的財産や人材を活用して外部資金を獲得するため、全学的な知的財産の体制を強化する。外部教育研究資金獲得に向け、専攻の教育研究や「学融合推進センター」共同研究プロジェクトの成果に基づく取組みを行う。	第3期中期目標・中期計画原案の提出(平成28年1月)